

## 東播支部

東播支部は明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町、洲本市、南あわじ市、淡路市の8地区からなります。18拠点で年間50件程の拠点活動と地域のフェスタ、高校祭、自治会、高年クラブのイベントから依頼を受けて活動する出前隊活動があります。約250名のボランティアが活動しています。活動時の相談内容は、体組成計や骨密度測定の結果を踏まえての相談、生活習慣病に関すること、とくに血圧に関することが多くなっています。その他、栄養に関することや運動に関すること、介護保険や制度に関すること、子供の成長に関することなど多岐にわたります。最近では多職種との協同で活動を行う機会が増え、栄養相談は栄養士がしっかりと相談に応じています。

### 拠点活動「加古川駅南子育てプラザまちの保健室」

加古川駅前子育てプラザは平成29年4月にヤマトヤシキ加古川店7階に場所を移し、身体測定と子育てに関する相談に対応しています。毎月予約制で栄養士による栄養相談を受けることができ、離乳食の相談、アレルギーについて、遊び食いで困っている等様々な育児における悩みに関して対応しています。核家族で身近に相談相手がない母親も多く、自分の子供の発達は問題ないのか？体重の増えが少ないような気がする…などの不安を持つ人が多く、専門的な知識を持った看護師が中心に熱心に悩みを聞き、また悩みを引き出しながら助言を行っています。



加古川駅南子育てプラザ「まちの保健室」



### ボランティアの 声

病院に行く程ではないけれど「この子は大丈夫？」と不安を抱えているお母さん達に数多く出会います。私たちが悩みを聞いて「大丈夫！」と背中を押すことで、子育てに前向きになっていく方々の顔を見るとボランティアに参加して良かったと思います。

また時折勤務先においてボランティアで関わった親子に出会い、子供の成長を共に喜ぶこともあります。退院後の生活を知る良い機会にもなっています。



### 出前隊活動「がいな!ハピくるまつり」(淡路市:平成29年10月14日開催)

当地区は漁師町で近年は独居、高齢夫婦の割合が高い地域ですが、老若男女多くの方々が参加されました。その一角のブースを利用し、血圧や体組成測定、健康相談を実施しました。参加された方々は50歳以上の女性が中心で、その中の多くの方は高血圧が持病にあり、地域での健康相談を活用しながらセルフケア行動をとられています。

### ボランティア研修会

東播支部「まちの保健室」は、兵庫県立大学地域ケア開発研究所の後方支援を受けており、平成29年度もボランティア研修会を協賛開催しています。平成29年9月10日に「認知症を持つ人々への理解とケア」が開催され、ボランティア看護師を中心に67名の参加がありました。県立大学の高見美保氏(教授)、中筋美子氏(助教/CNS)、西神戸医療センターの松田智子氏(CNS)が講師をされ、認知症の基礎知識から認知症をもつ人のアセスメントやコミュニケーションについて学びました。「まちの保健室」利用者は高齢者が多く、日々の活動の中でも介護に関する悩みや相談を受ける機会も少なくありません。今回の研修は日々の活動に生かされる内容であり、参加したボランティアにとっては大変有意義な研修となりました。



認知症研修



### ボランティアの 声

とても貴重な学習の機会になりました。地域社会の中で様々な人たちと協働しながら、認知症をもつ人々をどのように支えていけるかや、まちの保健室としてどのように地域ネットワークの構築に寄与していけるのかについて、さらに学んでいきたいと思いました。

